



# 豊だより

令和3年2月19日発行

No. 7

豊橋市立豊小学校

## 短なわチャレンジ

短なわチャレンジを今年も2学年で協力して行いました。個々に目標を決め、様々な技に挑戦しました。



## 避難訓練 1/15 (金)

今回は、子どもたちには知らせず、地震が起きたときにすみやかに避難することができるようにと訓練を行いました。



## 出前授業 (6年)『ゴールボール』 1/13 (水)

6年生の児童がパラリンピックの競技にもなっているゴールボールを体験しました。目隠しをして音を頼りにすることの難しさを実感しました。



## 6年生「卒業プロジェクト」

6生の総合的な学習の一環として「卒業プロジェクト」を行いました。子どもたちが話し合い、考えたことを実際に行っていくもので、学校のために何かをしたいと様々な活動を行いました。木製プランター作りのサポートに山内さんと戸田さんに来ていただき、一緒に製作しました。



# 保護者アンケート ～自由記述の内容にお応えします～

※掲載するご意見は一部抜粋となりますが、いただいたすべてのご意見について全職員で共有し、今後の活動に生かしてまいります

## ○コロナ禍の中のことで（マラソン大会）

コロナ禍の中、感染対策をしながらの授業や行事大変ご苦労なさっていることと思います。子どもたちのためにありがとうございます。緊急事態宣言が再び発令し、5年生の子どもたちが楽しみにしていたアイスホッケー観戦が中止となってしまいました。野外が中止となり、アイスホッケーも中止となり、先生方も子どもたちもがっかりされているかと思います。緊急事態宣言が解除され感染が落ち着きましたら、子どもたちにとって思い出になるようなことは行えないでしょうか。例えば弁当を持って校区内の公園に遠足に行くのはいかがでしょうか。密にならないよう1組と2組は別の公園にする。外で間隔を空けて弁当を食べるなら感染リスクは高くはないでしょう。近場の公園で、みんなで行って弁当を食べるだけでも楽しい思い出になるかと思います。

コロナの影響でいろいろと学校も対策をして下さっており、普段より感謝しております。

マラソン大会、無観客という手紙が届きました。勿論当日は行きませんでした。後日、何名かの親が見に来ていた（フェンス外）と、子どもから聞きました。その親に聞くと「学校に電話をしたずねたところ、フェンス外ならいいです。と、答えられた」と聞きました。それを聞いた他の親もそれなら見に行こうと、行った親もいたそうです。学校側が、無観客と決めたことに従う親が報われない対応をされると、信頼にかけます。今後の対応に期待しております。

コロナ禍でも行事は参観したい。児童1名につき保護者1名など、マラソン大会の無観客はとても残念でした。

コロナ禍で厳しい環境の中、工夫をして授業や行事を実施して下さい感謝しております。子どもたちにとっても今、先生方や学校が努力して教育を受けさせていただいていることを、大人になった時に本当に感謝すると思っております。ありがとうございます。よろしくお祈りします。

コロナウイルス感染症予防のため、今年度は制限のある中での活動となりました。子どもたちの安全を第1に考えながら、できる限りの活動をと、教職員一同考えながら取り組んできました。多くの励まし、そして学校の教育活動にご理解ご協力をありがとうございます。5年生の野外、アイスホッケー観戦が中止となり残念でたまりません。公園へ出かけることは授業時間の関係でできませんが、5年生は、「6年生を送る会」を計画し実行していきます。全校を動かす大きな行事です。すでに先日から動き出しています。この行事に向けて、5年生の活躍が実るよう支えていきたいと思っております。

今回、マラソン大会の参観を見合わせました。学校側の説明に一貫性がなかったこと、大変申し訳ありません。今後、保護者への周知を徹底していきたいと思っております。

## ○通学について

通学班の集合に毎日遅れて来る子がいて、出発が遅いのが心配です。

悪天候で登下校の時間が変更される時がありますが、連絡をもっと早くしてほしい。

2月18日の通学団会、一斉下校の日に集合時刻をきちんと守るよう班で話し合いをもち徹底していきたいと思っております。下校時間の変更については、なるべく早くメールできるよう努めていきます。

## ○避難訓練について

避難訓練で、行方不明者を決め、搜索する訓練をしていると子どもから聞きました。とてもよい訓練だと思います。

訓練をしているから、災害が起きても動けると思っています。これからは様々な自然災害を想定した訓練を行っていききたいと思います。

## ○その他

学校の生活状況や指導状況は、あくまで子どもが結果が伴っているかどうかで評価しました。具体的な学校での指導状況は把握できませんので、回答が難しかったです。

今後も子どもたちが楽しく通えるように頑張ってください。

毎日お忙しい中、子どもたちを守り、育ててくださってありがとうございます。これからもよろしくお祈りします。

あいさつやルール等は家庭での取り組みもとても必要だと思います。

温かい励まし、ありがとうございます。子どもたちのために今後もがんばります。【文責：校長 稲田】